

別紙5 機器構成表（ソフトウェア）

1 環境復元ソフト

下記の製品又は同等品以上であること。

富士通：瞬快 nami（並） Ver.13

【同等品条件】

- (1) PCを再起動することにより、あらかじめ設定した環境に戻すこと（環境復元）ができること。
- (2) 環境復元を行っても、ウイルス対策ソフトのパターンファイル等については、最新の状態を維持できること。
- (3) ドライブ単位、ファイル単位、フォルダ単位に復元対象を設定できること。
- (4) 複数のPCに対して、リモート制御による一斉操作（電源ON/OFF、再起動、メッセージ送信、特定PCの画面転送等）を実施できること。
- (5) リモートコンピュータ上の画面から複数PCの画面を一覧表示し、各利用状況をリアルタイムに確認できること。

【必要ライセンス数】

教員：1台、生徒：42台

2 CALLソフト

下記の製品又は同等品以上であること。

Chieru：CalaboEX 最新バージョン

【同等品条件】

- (1) CALL機能
 - ア 先生画面／音声送出：先生PCの画面やマイク音声を学習者に送出できること。先生PC画面はフルスクリーンとウィンドウサイズで表示できること。
 - イ 動画配信：DVDやビデオの映像またはMPEGなどの動画ファイルを一斉配信できること。フルスクリーン表示／ウィンドウサイズ表示を先生側から指定できること。
 - ウ モニタ／サムネイル表示：学習者の画面と音声をモニタできること。複数学習者を一度にモニタし、一覧表示もできます。モニタからインカムへの切り替えができること。
 - エ インカム：学習者と通話しながら学習者のPCをリモート操作ができること。
 - オ モデル：任意の学習者の画面と音声を学習者全員に提示できること。
 - カ 電子指示棒：先生画面送出時やインカム、モデル時、PC画面にマーキングできること。
 - キ ベア会話：座席番号順または相手がランダムに決まるベアで会話練習ができること。会話中、対象ベア以外の会話に影響を与えず、ベア相手を組み替えたり、遅刻者を参加させたりすることができること。
 - ク 会話録音：会話内容を録音・保存・回収できること。
 - ケ 画面共有：会話時にベア（またはグループ）の1人の画面を共有できること。
 - コ ベア内のメンバー指定：ベア（またはグループ）のうち、いずれか1人を指定できること。
 - サ グループワーク：先生が指定したグループまたは学習者が自主的に組んだグループで会話や画面共有ができること。グループ内でファイルの受け渡しが可能であること。
 - シ 授業外グループワーク：授業時間外（先生がCaLabo EX コントローラーを起動していないとき）に、学習者自身でグループを組み、グループ内のリーダーの画面を他のメンバーに見せることができること。
 - ス チャット：クラス全員またはベア／グループ間でチャットボードによるチャットができること。
 - セ 先生呼び出し：質問があるときなど、学習者の操作で先生を呼び出せること。
 - ソ コールレスポンス：学習者からの呼び出しに対し、インカムやチャットで応答できること。
 - タ アナライザー：制限時間を設定した選択式問題を配布し、回答状況をリアルタイムに集計できること。正解／不正解の学習者名もその場で確認でき、結果をCSVファイルとして保存できること。
 - チ 小テスト：選択／正誤／入力問題を組み合わせたテスト用紙を配布し、確認テストを実施できます。結果は自動採点し、学習者にフィードバックできること。学習者別／問題別の正解率や解答の明細をCSVファイルに保存できること。
 - ツ 評価シート：相互評価用の評価シートを配布し、プレゼンテーション等を評価します。結果はその場で集計し、結果をCSVファイルに保存できること。
 - テ ファイル配布／回収：教材ファイルを配布し、学習者ごとに区別して回収できます。回収後に添削し、添削結果を返すこともできること。
 - ト ファイル提出：学習者が課題ファイルを先生に提出できること。
 - ナ 自動抽選：現在出席している学習者または選択した学習者の中で1人だけ選んで名前を表示 できること。
- (2) ムービーテレコ機能
 - ア 教材読み込み：音声・動画ファイルの教材をドラッグ＆ドロップするだけで利用できること。教材として、YouTube や TED Talks を指定することもできること。
 - イ 再生：任意の教材を選択し、教材動画・音声を一斉再生できること。
 - ウ 録音：動画や音声を再生しながら発話音声を録音し、比較視聴できること。
 - エ 画面表示切り替え：動画再生時、先生および学習者の動画を全画面表示にすることができること。
 - オ ブックマーク：音声データに頭出しのための「ブックマーク」を付与し、ブックマークから再生できること。
 - カ ダビング：先生マイク音声やテープ・DVD の音声および映像をその場でダビングできること。
 - キ キーマッピング：再生／一時停止などの操作をキーボードで行えること。
 - ク スピードコントロール：動画と音声の同期をとり、音程を変えずに再生スピードを遅くしたり速くしたりできること。
 - ケ ビッチ波形表示：教材音声／録音音声のビッチ波形を比較表示できること。
 - コ キャプション：動画に同期させキャプションを入れることができること。
 - サ Teaching／SelfLearning：「Teaching」モードでは先生の操作で一斉に学習できること。「SelfLearning」では、学習者が自由に操作し、個々のペースで学習できること。
 - シ 録音回収・一斉保存：学習者の録音音声を回収／一斉保存できること。
 - ス 一斉起動／終了：「ムービーテレコ」を一斉起動／終了できること。
 - セ 持ち帰り学習：教材といっしょに「ムービーテレコ」を持ち帰り、自宅で学習できること。
- (3) 視聴覚機能
 - ア 音声送出：先生マイク音声、PC音源、外部入力音源を切り替えて送出できること。
 - イ 教材送出：AV機器や先生PCの画像音声をプロジェクターやルームスピーカーに送出できること。
 - ウ AV機器リモート操作：先生PC上でAV機器の操作を制御できること。
 - エ USBサウンドユニットを添付すること。
- (4) PC管理機能
 - ア 操作ロック／ブラックアウト：学習者PCのキーボード／マウス操作をロックできます。また、モニタを非表示にできること。
 - イ 座席アイコン表示：座席アイコン上に学習者PCのデスクトップ画面を表示できること。

別紙5 機器構成表（ソフトウェア）

- ウ 電源管理：学習者PCの電源を一斉にON/OFF/再起動/ログオン/ログオフできること。
 - エ リモート起動：学習者PCのアプリケーションを先生側から起動できること。
 - オ アプリケーション監視：学習者PCで現在実行中のアプリケーションを座席アイコンに表示できること。
 - カ URL一斉表示：既定のブラウザを起動し、先生が指定したWebサイトを一斉に表示できること。
 - キ 実行不許可：学習者PCのアプリケーション起動やブラウザの利用を一時的に禁止できること。
 - ク Web制限/プログラム制限：学習者PCでWebサイトの閲覧や指定したプログラムの利用を一時的に禁止できること。
 - ケ 授業外インターネット制御：先生PCが起動していない状態でも、学習者PCのWebアクセスを制限できること。
スケジュール（曜日や特定の日付）の設定ができ、スケジュールによる制限が適用されている場合でも先生PCで簡単に制限解除ができること。
- (5) 出席管理機能
- ア AD連携：Windowsログオン時に認証されたユーザーから学習者の名前を自動で表示できること。また学籍番号を取得して出席情報やファイル回収・提出時のファイル名に反映できること。
 - イ クラス設定：クラスごとに、座席配置や座席表、グループを設定できること。
 - ウ 出席票：授業開始時に出席票を表示し、出欠をとれること。遅刻者も自ら出席できること。
 - エ 出席結果保存：学習者の出席状況をCSVファイルで保存できること。
- (6) 設定機能
- ア 座席レイアウト：教室の座席配置に合わせて自由にレイアウトできること。
 - イ グループ作成：学習者アイコンを選択し、アイコンにドラッグ&ドロップするだけで自由にグループを作成できること。授業中、自由にグループを変更できること。
 - ウ コントローラ表記：先生PCのコントロール画面表記は日本語/英語/中国語を切り替えられること。
 - エ デュアルモニタ対応：先生PCをデュアルモニタにして常にコントロール画面を表示させ、先生画面/コントロール画面を1つのマウス/キーボードで操作できること。
 - オ 複数レイアウト：授業毎に複数のレイアウトが登録できること。
 - カ 複数NIC対応：複数NIC環境に対応していること。
- (7) 以下の動作環境をサポートすること。
- ア OS
 - (7) Windows 10 Enterprise LTSC 2019
 - イ ブラウザ
 - (7) Microsoft Edge
 - (4) Google Chrome

【必要ライセンス数】

教員：1台、生徒：42台（ただし、USBサウンドユニットは教員：2台、生徒42台とする）